

仕 様 書

(品名) と り ア エ ズ

制定 2012年 1月

大 都 工 業 株 式 会 社

1. 適用範囲

この仕様書は、主にメッセージワイヤー及び引込線において鳥類が飛来、止まるのを防止するために使用する「とリアエズ」について規定する。

2. 種類

とリアエズの種類は、1種類とする。

3. 包装

とリアエズは、適当数を硬質紙箱等に入れ、輸送中損傷を受けないよう梱包し、その外面に、品名、数量等を表示する。

4. 性能

とリアエズの性能は、8.3～8.5の試験方法によって試験したとき、表1のとおりとする。

表 1

項目	性能	適用項
耐熱性	75 ± 3、1時間で ひび、割れ等の異常が生じないこと	8.3
耐寒性	-20 ± 3、1時間で ひび、割れ等の異常が生じないこと	8.4
耐候性	促進耐候性試験機で2,000時間照射した後、 ひび、割れ等の異常が生じないこと	8.5

5. 外観・構造

- (1) とリアエズは、仕上げが良好で、ひび、割れ、変形等の使用上有害な欠点がないものとする。
- (2) とリアエズは、取付けた状態において、連結部が外れない構造とし、架空線等の被覆を損傷させないものとする。
- (3) とリアエズを架空線に取付ける際は、バインド線またはビニルテープ等により、しっかりと架空線に固定するものとする。

6. 形状・寸法

付図のとおりとする。

7. 材質

とリアエズの材料は、ポリプロピレンとする。

8. 試験方法

8.1 外観・構造試験

完成品について、目視及び手触りにより5.及び7.に規定する事項について調べる。

8.2 寸法試験

完成品について、目視及び度器により6.に規定する事項について調べる。

8.3 耐熱性試験

完成品を75 ± 3の恒温槽内に1時間放置した後取り出し、30分間常温に放置し、ひび、割れ等の異常が生じていないか調べる。

8.4 耐寒性試験

完成品を -20 ± 3 の恒温槽内に1時間放置した後取り出し、30分間常温に放置し、ひび、割れ等の異常が生じていないか調べる。

8.5 耐候性試験

完成品より適当な大きさの試料を採り、JIS A 1415(1999)「高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法」に基づいて促進暴露を行った後、ひび、割れ等の異常が生じていないか調べる。

但し、試験条件は以下のとおりとする。

- (1) 試験方法の種類 WS - A形とする。
- (2) ブラックパネル温度 63 ± 3 とする。
- (3) スプレーサイクル 120分中18分とする。
- (4) 試験時間 2000時間とする。

9. 検査

9.1 検査項目及び試料数

検査項目及び試料数は表2のとおりとする。

表 2

検査項目	試料数	ロットの大きさ
(1)外観・構造検査	3点	3,000本 又はその端数
(2)寸法検査	3点	
(3)耐熱性検査	1点	
(4)耐寒性検査	1点	
(5)耐候性検査	1点	

の項目は必要と認めたと時のみ行う。

9.2 検査方法

9.2.1 外観・構造検査

8.1に規定する方法により、抜取方式によって行い、5.の規定に適合しなければならない。

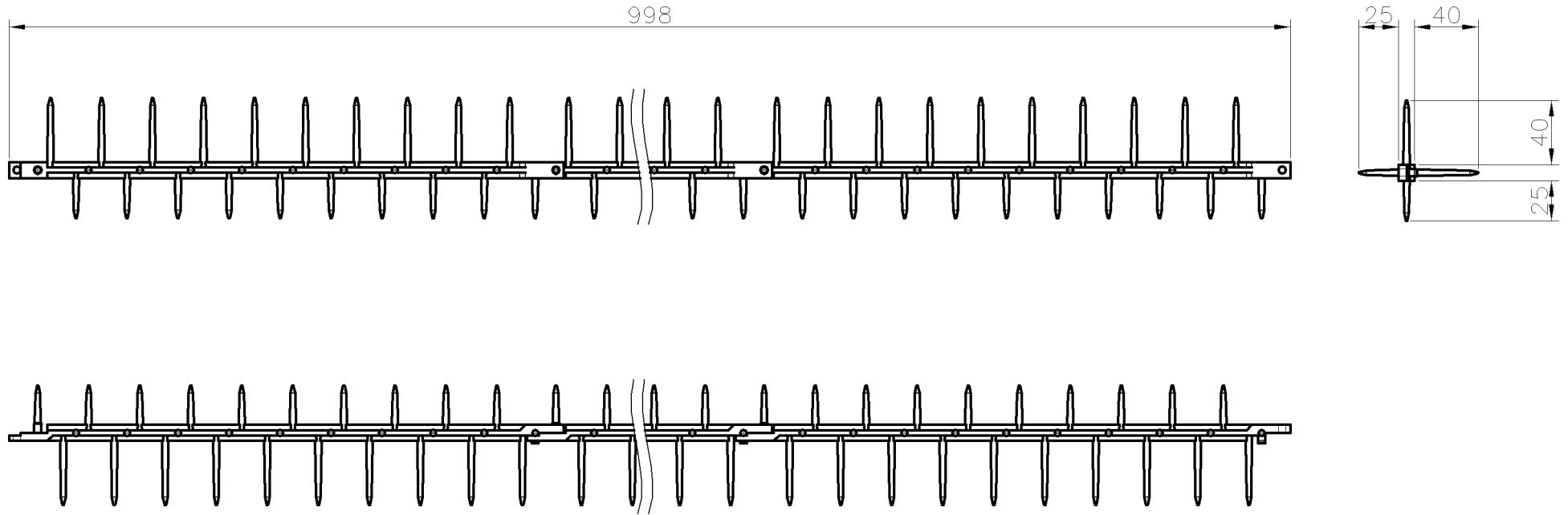
9.2.2 寸法検査

8.2に規定する方法により、抜取方式によって行い、6.の規定に適合しなければならない。

9.2.3 耐熱性、耐寒性及び耐候性検査

それぞれ8.3～8.5の試験方法によって行い、4.の規定に適合しなければならない。

以上



備 考：

。寸法は、すべて標準寸法とする。